

絆

仙台市立第一中学校
第2学年
No.10
令和6年8月26日(月)

1学期後半スタート 学校のリーダーとして活躍しよう。

夏休みが終わり、いよいよ1学期後半のスタートです。夏休みは学習や部活動など様々な活動を通して、充実した日々を過ごせたと思います。部活動では夏の大会ではほぼ3年生が引退し、2年生が部活動を牽引することになります。10月には校友会役員選挙が実施され、学校のリーダーは2年生になります。来月30日は中学校生活の折り返し点になり、10月から中学校生活後半が始まります。

今後、2年生は3年生から信頼され、1年生の模範となるよう、責任と自覚をもって学校生活に当たらせたいと思います。

学校行事では学文会、スポーツフェスティバルが予定されています。行事を通して学級や学年の団結を高め、歴史と伝統のある一中生の一員として活躍させたいものです。

【進路情報】

高校入試 ウェブ出願導入 県教委、26年3月から

※河北新報7月26日(金)から

県教委は25日、公立高入試の出願を簡素化するため、今の中学2年生が受験生となる2026年3月の入試から手続きをオンライン化する方針を決めた。志願者はインターネットを使って簡単に
出願でき、情報をまとめる学校側の負担も大幅に減る。

同日の高校入学者選抜審議会(委員長・田端健人宮城教育大教職大学院教授)で示された。今後の
県教委定例会で正式に決まる。

受験生が中学校に出していた手書きの入学願書はなくなり、オンライン上で必要事項を入力する。
願書に貼付する収入証紙は不要で、クレジットカード決済などが活用できる。

中学校から高校に願書を提出する流れも変わる。これまで中学の教諭が願書を1枚ずつ確認し、学
校ごとの一覧を作成。各高校に直接、願書を持参するなどしてきた。今後はオンラインの出願システ
ムで確認するだけになり、受け取る高校側の負担も減る。

県教委の試算によると、オンライン化で中学教諭の作業時間は133時間、高校教諭は104時間、
それぞれ減らせる見通し。

県教委はまた、26年度入学者を選抜する公立高入試の日程を、26年3月4日とする案を明らか
にし、高校入学者選抜審議会に諮問した。

日程案によると、やむを得ない理由で本試験を受験できなかった生徒を対象とする追試験は3月10日
に実施。合格発表は本試験、追試験ともに16日とした。(原文)

三者面談、ありがとうございました。 今後とも御支援、御協力をお願いいたします。

夏休みに実施された三者面談には御多用の中、御来校いただきありがとうございました。

学校や家庭での様子、友人関係、学習や部活動などについてお子さん、保護者と担任で情報を共有
することができました。短い時間でしたが、話題になったことは今後の指導に役立たせていただき
たいと思います。

今後とも御支援、御協力をお願いいたします。